

センターからのお知らせ

世界エイズデー in Yokohama 2021 報告

横浜 AIDS 市民活動センターは「世界エイズデー in Yokohama 2021」を横浜市役所 1 階展示スペース B で開催しました。11月10日から15日の期間中、当センター作成「知ってる?エイズのこと。」のポスターや HIV・エイズのパンフレット等の配架を行いました。

新聞 2 社からの取材もあり、HIV・エイズの早期発見・早期治療・治療継続の大切さや現在では薬で進行が抑えられる病気であることを紹介できました。

横浜市内では、各区福祉保健センター等で HIV・梅毒の検査を無料・匿名で行っています。



『ピンクシャツデー2022 in 神奈川』について

子どもも大人も、いじめを受けていい人は誰もいません。2007年カナダ・バンクーバーで2人の学生の運動から始まったピンクシャツデーは、今では180カ国以上のワールドアクションとなっています。2月の最終水曜日がピンクシャツデーです。ピンクのシャツや小物を身につけ、「いじめ」と「尊重」を考える機会に! 詳しくはこちら→[ピンクシャツデー2022in 神奈川推進委員会・認定 NPO 法人神奈川子ども未来ファンドホームページ](https://kodomofund.com/pinkshirtday/)



流行している性感染症・梅毒について

日本における梅毒の感染者数は、現在の集計が始まって以来過去最多7,134人になったと国立感染症研究所が2021年12月に発表しました(注:2021年1月から12月5日までの数値)。全国的に増加し、上位5位は東京都、大阪府、愛知県、福岡県、神奈川県です。横浜市の梅毒感染者届出では、男性の7~8割が20~40代、女性の約5割が20代でした(2018年から2020年まで)。

梅毒は、性的接触やキスなどでうつることがあり、感染した場所にてきものやただれ、発疹の症状がでることがあります。感染の有無は、感染の可能性のあった時から6週以上経過した後の血液検査でわかります。早期に治療を行うと治る病気です。



HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地 尾上町ビル 9F / TEL:045-650-5421 FAX:045-650-5422 / E-mail:info@yaaic.gr.jp
平日:13:00~20:00 / 土・祝:10:00~17:00
休館:日/火
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

特集 性と生殖に関する健康と権利を守ろう



近頃、テレビ・新聞・SNS などメディアで性教育の特集が組まれることがあります。さまざまな性教育に関する書籍も多数出版されています。

性・エイズに関する学習会 2022 では、幼い子どもだけでなく、大人たちも絵本を通して自分を守ること、自分で選択する力を持つことを学びます。そして性について考え学ぶことは、だれもが普通に行うことであり、特別なことではないということを考えていきます。オンライン開催ですので、お申し込みの上、ご参加ください。



日時:3月19日(土) 11:00~12:00
講座:性教育絵本から考える 自分の体の権利を知ること
そしてできること
講師:遠見才希子(えんみさきこ)さん
筑波大学大学院社会精神保健学・産婦人科医
著書:『ひとりじゃない 自分の心とからだを大切にすること?』
発行:2011年 ディスカヴァー・トゥエンティワン
『はじめての「からだ」と「性」のえほん だいい だいい どーこだ?』発行:2021年 株式会社大泉書店



参加対象:学生、子どもや若者への支援者、テーマに関心のある方
定員:100名
開催会場:オンライン (Zoom ウェビナー)
申込方法:2月16日(水) 15:00 から、当センターの HP で受付を開始します。
URL <https://yaaic.gr.jp/>

特集 性と生殖に関する健康と権利を守ろう



みなさんは「SRHR:セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」という言葉を知っていますか？
すべての人に、そしてSDGsにも関係している言葉です。コムちゃんと一緒に考えていきましょう！

【SRHRの誕生】

1994年エジプトのカイロで開催された国際人口開発会議(ICPP)で、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの言葉が定義された後、2002年世界保健機関(WHO)がセクシュアルヘルスという言葉
を定義し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツと非常に密接にかかわることからひとまとめに「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」が生まれました。

2015年から始まったSDGsの目標3(すべての人に健康と福祉を)・目標5(ジェンダー平等を実現しよう)の中にセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツが記載されています。

【SRHRとは?】

世界保健機関(WHO)憲章には「到達しうる最高基準の健康を享有(生まれながら持っている)することは、人権、宗教、政治的信念または経済的、社会的条件の差別なしにすべての人間が持っている基本的人権の一つです。」とあります。

SRHRは、自由・平等・尊厳の基本的人権の観点から、すべての人が自分自身のからだも自分自身の人生も自分のものであり、自分の意思で選択できる権利があり、すべての人に保障される権利だとしています。誰にも奪われることのない、また譲り渡したりすることがない権利です。

【現在の状況は?】

すべての人は健康に生きる権利をだれもが同じように持っているのに、日本を含む世界中で性に関する健康や権利を守れない場合があります。

性に関する正しい知識や情報にアクセスできない
社会状況などにより性に関する知識が不足していたり、性自認や性的指向に関して性と生殖に関する権利を公平に持てないことがあります。

望まない妊娠と人口妊娠中絶

妊娠や避妊に関する正しい知識の不足や、パートナーが協力しない、避妊薬や避妊道具を手に入れられないなど、安全ではない出産や中絶がおこなわれます。子どもを産む・産まない、何人・いつ産むかを自由に決定できないことがあります。

HIV エイズを含む性感染症の広がり

世界3大感染症の一つであるHIV・エイズとそれ以外の性感染症の予防、検査、治療のサービスや情報が届かないことがあります。

性暴力とジェンダーに関する暴力・差別

性暴力、性的強要、虐待、ジェンダーに関する暴力や強制など、年齢に関わらず予防や教育、発見や助けが届かないことがあります。



【SRHRは4つの言葉の組み合わせで作られています】

セクシュアル・ヘルス

リプロダクティブ・ヘルス

セクシュアル・ライツ

リプロダクティブ・ライツ

セクシュアル・ヘルス:自分の「性」に関することについて、心身ともに満たされて幸せを感じられ、その状態を社会的にも認められていること。

リプロダクティブ・ヘルス:妊娠したい人、妊娠したくない人、産む・産まない興味も関心もない人、アセクシャルな人(無性愛、非性愛の人)問わず心身ともに満たされ健康でいられること。

セクシュアル・ライツ:セクシュアリティ「性」を自分で決められる権利のこと。

リプロダクティブ・ライツ:産むか産まないか、いつ・何人子どもを持つかを自分で決める権利。「生殖」に関するすべてのことを自分で決められる権利。

引用:公益財団法人ジョイセフ・性と生殖に関する健康と権利

「性と生殖の健康や権利」を守るために、すべての人が知識や情報を得られることや学びを共有したり、話をしたり、相談したり、行動することが大切なんだね!

SDGs
よこはまCITY 冬
~国際協力・多文化共生からのアプローチ~
2022.02.20(日)
10:00-18:00
#学び #食 #エンタ #海外中継 #ユース #他にも

横浜 AIDS 市民活動センターでは、公益財団法人ジョイセフ(JOICFP)の方をお招きし、学びのプログラムを開催します。

講座:性と生殖の健康と権利(SRHR)って?~ライフスキルとしてのILADY.

内容:性と生殖の健康と権利の紹介・若者ピアとは?(ジョイセフの事例から)・若者ILADYのピアアクティビストからのセッション:あなたはどれを選ぶ?自分の人生を愛して選択するためのライフスキル

日時:2月20日(日)11:00~12:15

定員:100名(参加対象は学生、若者への支援者、テーマに関心のある方)

開催会場:オンライン開催(申込方法は「SDGsよこはまCITY冬」公式Webサイトをご覧ください。)

→<http://sdgs-yokohama-city.org/>

女性、選択できる世界を。
JOICFP

ジョイセフのHPはこちら↓
<https://www.joicfp.or.jp/jpn/>